

保育実習でつながる

中学3年生が家庭科の授業の一環で昭和幼と維新幼で保育実習をしました。昭和幼では、中学生とペアでフープ陣取りをしたり、自然物で遊んだりする中で、少しずつ仲良くなり、5歳児は自分たちで企画した「しょうわっこまつり」にも招待されました。まつりのやり方をみんなで紹介したり、お化け屋敷では中学生にも怖がってもらえるようにみんなで力を合わせたりしました。ドキドキしましたが、中学生に喜んでもらい大満足でした。帰り際にはみんなでアーチを作り、いつまでも見送る様子も見られました。



フープ陣取り



アーチでお見送り

教科でつながる

五つ星学園では、幼稚園・小学校・中学校の教科等ごとに各担当者が集まって、公開授業と公開保育を行いました。互いの授業や保育の様子を見合うことを通して、12年間で子どもたちに育てたい力を明らかにし、共通理解のもと一貫性のある指導を行っています。



国語部会公開保育
(昭和幼稚園)



国語部会公開授業
(昭和小学校)



社会部会公開授業(昭和中)



算数部会公開授業(維新小)



理科部会公開授業(維新小)

地域への貢献でつながる

～昭和中の防災学習「自分たちができることは何だろう」～

昭和中では各学年2時間の防災学習を行いました。1時間目は、ビデオ教材を用いて災害発生の仕組みなどについて学んだ後、災害時の非常持出品として必要なものを考えたり調べたりしてまとめました。非常持出品や避難場所等について家族と話し合うことを宿題にしました。2時間目は、地震発生時の行動について改めて確認しました。

今まで大丈夫だったので今回も大丈夫だろうとってしまう「正常性バイアス」や、周りの人も動いていないから大丈夫だろうとってしまう「同調性バイアス」によって逃げ遅れないよう、中学生が避難行動を呼び掛けることの重要性を学びました。



話し合い「自分たちができることは何だろう」



ビデオ視聴「正常性バイアス」

出前授業でつながる

中学校教員が昭和小と維新小で出前授業を行いました。維新小では、陸上記録会の前に5・6年生を対象に陸上競技の授業を、学芸会の前には、全校児童を対象に合奏の授業を行いました。専門的で熱心な指導によって、児童は自分たちの技術が上がる実感が得られ、たいへん喜びました。



音楽の出前授業



体育の出前授業



2020年3月5日発行

つながって
生まれる笑顔が
たからもの

昭和・維新地区
幼小中一貫教育推進事業
五つ星学園 目指す子ども像「まわりとつながる子」

異学年で、他校園で、地域で、友達と、家族とつながる子どもたちの様子をご覧ください。

地域を知ってつながる

～地域安全防災マップ完成～

維新小3・4年生が今年度、社会科と総合的な学習の時間に取り組んだ地域防災安全マップが出来上がりました。維新地区には消火栓・水門・災害時掲示板などがあることを昭和公民館水内分館長さんから教えていただき、現地取材を行いました。学んだことをまとめ、地域学習支援ボランティアの方々の招待した感謝の集会で発表しました。自助と共助に役立つマップ作りを通して、防災意識を高めることの大切さを学びました。



完成した防災マップ



調査を計画中



消火栓の現地調査

ピア・サポート(中学生の学習サポート)でつながる

五つ星学園では中学校と小学校のピア・サポート活動を行っています。中学生が小学生に積極的に関わり、算数の学習をサポートしました。昭和小では、児童が「ここはどうすればできるの?」「ヒントを教えて!」と自分から尋ねてたくさん問題を解きました。計算問題では、中学生とタイムを競う児童もいました。中学校生活の話も聞き、これからの学習意欲につながる楽しい時間を過ごすことができました。



見事にそろえられた
中学生の靴
昭和小4年生と昭和中3年生



昭和小3年生と昭和中1年生

遊びでつながる

維新小の児童と維新幼の園児が一緒になって遊ぶ「遊ぼうデー」を月に1回行っています。児童は、宝探しやしっぽとり、新聞じゃんけん、リアルだるまなど、何をして遊んだら園児が楽しんでくれるかを学級で話し合っ、活動内容を工夫しています。

小学校のお兄ちゃん、お姉ちゃんが、手をつないでくれて
うれしいな。今度は、どんな遊びか、楽しみだな!



だるまさんがころんだ



しっぽとり

地域の方とつながる

昭和小は、総合的な学習の時間に毎年、作原のぶどう農園を訪問しています。農園の方は、ぶどう栽培に対する思いを丁寧に話してくださり、児童は愛情をもって育てていることや育てる際の苦勞を知ることができました。収穫体験では、前回の訪問で袋がけをしたぶどうを見つけ、心を込めて丁寧に収穫しました。袋がけのときに書いた「大きなあれ」「おいしくなあれ」の願いどおり立派に育ったぶどうに児童は大満足でした。



メモを取りながらお話を伺う3年生



ぶどう摘み体験「おいしくなあれ」

令和元年度 五つ星学園アンケート結果から

～五つ星学園 2nd ステージ「地域とともにある学校づくり」をめざして～

五つ星学園では、1学期末と2学期末に保護者、児童生徒、教職員、そして地域住民(地域連携協議会委員)を対象にアンケートを行いました。

学園の幼小中一貫教育は、2ndステージ(6年目)。「まわりとつながる子」を目指す子ども像として掲げ、地域とともにある学校づくりを進めています。アンケート結果から、五つ星学園では、地域の皆様の温かいご支援により、多くの児童生徒が地域への愛着と誇りを持っている様子がうかがえます。

ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

【自分は友達や家族に進んであいさつをしている。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 小学生95人(3年～6年)・中学生56人 計151人

【自分は地域の人に進んであいさつをしている。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 小学生95人(3年～6年)・中学生56人 計151人

学園の幼小中一貫教育の基本として大切にしているのがあいさつです。約9割の児童生徒が進んであいさつをしていると答えました。地域の方からは子どもたちのあいさつにいつも元気づけられているという言葉もいただいています。

【昭和・維新地区はよい所だと思う。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 小学生95人(3年～6年)・中学生56人 計151人

地域の皆様による一貫教育推進への温かいご支援とご協力により、たくさんの児童生徒が昭和・維新地区がよい所だと感じています。



【自分は生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん・テレビ・ゲーム・スマートフォン等)が整っている。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 小学生95人(3年～6年)・中学生56人 計151人

この項目は前年度と比べ、「あてはまらない」と答えた児童生徒が増えています。情報化社会の中で様々なメディアを子どもたちが利用するようになってきました。生活習慣を整えるためにスマホやテレビ等の利用の仕方について保護者・地域の方と一緒に考えていく必要があります。

【授業はわかりやすいと思う。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 小学生95人(3年～6年)・中学生56人 計151人



85%の児童生徒が授業が分かりやすいと答えました。五つ星学園では、教科等ごとに担当者が集まって、学習指導のポイントや学びの連続性を明らかにするための学園会議や授業公開を行っています。

【これからも、幼・小・中一貫教育の事業を続けてほしい。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 地域住民20人

【五つ星学園は5校園の積極的な交流を行っている。

■よくあてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



回答数 保護者170人

前年度に引き続き、多くの方から、五つ星学園の一貫教育の事業の継続に対し肯定的な回答を得ることができました。地域の皆様の期待に応えられるよう、これからも5校園の連携を強めながら諸事業や子どもの活動を充実させたいと思います。

STUDY ENGLISH 英語で伝わる 笑顔あふれる
～私たちは、実践的な英語教育を進めています～

英語の合同授業楽しかったよ!



昭和幼の5歳児が、昭和小のアンニー先生の1年生の英語授業に参加しました。幼稚園とは少し違う授業に初めはドキドキしていましたが、小学生が進んでやり方を教えてくれたり、優しく手本を見せてくれたりして「教えてくれたからできたよ」「優しくしてくれてうれしかった」などと、うれしい気持ちを1年生に伝えました。幼稚園では「1年生は英語がいっぱい話せてかっこいいな」と、憧れの気持ちを言葉で表現する様子も見られました。

昭和公民館「ALT アンニー先生の英語授業体験」



昭和小の外国語指導助手、アンニー先生を講師にお招きし、英語授業体験講座が開催されました。子どもから高齢者までが一堂に会し、英語の歌やゲーム、会話などあつという間の1時間半でした。英語を使い、英語でコミュニケーションをする楽しさを味わっていただけたようです。昭和公民館には、英語に親しむ機運を地域にも広げようと企画していただき、ありがとうございます。地域のみなさんも、ときには児童生徒に「Hello(こんにちは)」や「Good morning(おはよう)」「See you(さようなら・またね)」など英語で話しかけてみてください。

メルトン校ホームステイ 10/6～10/13



昭和中のオーストラリアの姉妹校メルトン・セカンダリー・カレッジ(MSC)から生徒8名と先生2名が来日し、生徒・卒業生宅にホームステイをしながら通学しました。英語の授業ではMSCの生徒が先生役でアドバイス。音楽では琴の演奏を昭和中学生が英語と身振り手振りで熱心に指導し、1時間で「桜」を8名で合奏するまでになりました。座禅・茶道体験や「デコ巻き(巻き寿司)」作り、地元の方の指導によるミニ畳作りなど日本文化プログラムも実施。授業や休憩時間を通じて一気に距離が縮まる様子を見て、生徒たちのチャレンジ・スピリット、優しさ、たくましさ、可能性を感じました。出発の日は、たくさんの方々が見送りに美袋駅に集まってくださいました。笑顔と涙、いつの日かの再会を願って別れました。生きた英語を使い、相手のことを一生懸命考えて接したかけがえのない8日間になりました。ホストファミリーや地域の皆様には大変お世話になりました。

昭和中学校インターナショナル・デイ



国際理解学習の一環として、昭和中でインターナショナル・デイが開催されました。3時間目は、青年海外協力隊としてアフリカのマラウイで子どもの教育と教員の養成に従事された平松祐衣先生の国際貢献に関するご講演。先生は、現地の生活や衣装、学校の様子などについて紹介するとともに「強い思いをもつことが世界を変える力になる」というメッセージをくださいました。4時間目と給食時間は、1年生と外国人との交流会。オーストラリアから総社南高に留学中の生徒と五つ星学園の外国語指導助手、合わせて4人の外国人をお招きし、出身国の紹介や自己紹介、グループ単位の他己紹介等を行いました。日ごろ習っている英語を試す貴重な機会になりました。

インタビューしてみよう



小学校6年生が修学旅行で外国の方にインタビューをしました。まずはどきどきしながら自己紹介。その後、「好きな食べ物は何ですか?」と質問しました。Sushi, Udon... 京都を訪れた方は日本食が大好きなようです。突然のインタビューにもかかわらず、名前を覚えて呼んでいただいたり、丁寧に答えていただいたり、中には、がちりと握手もしてくださる方もいて、外国の方の優しさにたくさん触れることができました。

2年生が合同授業を実施



昭和小と維新小2年生の合同授業です。前半はみんなで、歩く、走る、跳ぶ、跳ねる、泳ぐなどの動作を、英語でどう表現するのかジェスチャーを入れて学習しました。後半はグループ単位の交流です。普段は会えない友達に自己紹介したり、アルファベットカードゲームを楽しんだりしました。